

花王

世界的なSRI指標に7年連続で選定

花王は、世界の代表的な社会的責任投資（SRI）指標である「Dow Jones Sustainability World Index（DJSI World）」「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index（DJSI Asia Pacific）」の構成銘柄に7年連続で選定された。

DJSIは、米国S&Pダウ・ジョーンズ社と

Member of
Dow Jones Sustainability Indices
Powered by the S&P Global CSA

スイスのSAM社が開発した株式指標で、環境、社会、ガバナンス（ESG）といった重要な因子から企業活動を分析し、持続可能性（サステナビリティ）に優れた企業が選定される。

2020年度は、世界の大手企業3467社から318社がDJSI Worldに選定され

た。同社は、ガバナンスを含む経済面で、行動規範、研究開発の取り組み、品質保証、新興市場戦略、環境面で、環境報告、気候変動対策、包装容器の取り組み、社会面で、社会的報告の取り組み、企業市民活動が高い評価を獲得した。

ESG部門を統括する

ディフ・マンツ氏は、

「花王は、以前にも増して求められている、穏やかでより持続可能な生活様式である『Kirei Lifestyle』をすべての人に届けるために努力を重ね、商品の設計から最高レベルの誠実さで企業経営を続ける方法に至るまで、あらゆる

東京五輪の開催延期が経済成長の重しとなる中で、Gotoキャンペーンを導入して緩和を図ろうとした結果が、まさに今の日本を表しているが、誰も責められないだろう。コロナ禍の閉塞的で鬱屈した雰囲気はその「誰のせいでもない」とい

う心情が反映されているかのようでもある。日本は1964年の東京五輪を機に戦後の復興が加速し、70年の大阪万博開催で国際社会の仲間入りを果たすとともに大きく経済成長を遂げた。

既に半世紀以上経っているとはいえ、エポックメイキングな出来事

として五輪の自国開催を経験した国が、20年の東京五輪から25年の大阪万博への流れを極めて近似した歴史として重ね合わせてしまうのは当然だろう。さらに平成から令和に元号

私のH & B日記

迎える節目として重要な年に位置づけていたことを、年の瀬が近づくとつれて思い知る。30代のうちに経験しておきたいこと、40歳になって始めたいことなど、小心者の私に

世界的なESG投資指標の構成銘柄に4年連続で選定

み込むべく日々励んでいる。今回の選定は、この「だろ」とコメントして取り組みをさらに推し進めるための追い風になる。

ライオン

世界的なESG投資指標の構成銘柄に4年連続で選定

ライオンは、世界の代表的なESG（環境、社会、ガバナンス）投資指標の一つである「Dow Jones Sustainability Index（DJSI）」のアジア・太平洋地域「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index（DJSI Asia Pacific）」の構成銘柄に、4年連続で選定された。

DJSIは、米国S&Pダウ・ジョーンズ社と

調査を行うスイスのRobecoSAM社が提携して開発した指数で、経済・環境・社会の3つの側面から企業を分析し、

が変わって間もなく、新時代への期待感も相まっては、誰も責められない。そのような大事を前に私事を語り始めるのはおこがましいが、個人的に20年は満40歳を

小事の1年

迎える節目として重要な年に位置づけていたことを、年の瀬が近づくとつれて思い知る。30代のうちに経験しておきたいこと、40歳になって始めたいことなど、小心者の私に

ポーラ化成 黒住研究員

日本心理学会にて優秀発表賞を受賞

ポーラ化成工業の黒住元紀研究員は、「頬の運動の遅れが視覚知覚に及ぼす影響」と題した発表内容が、562件の審査対象発表の中で高い評価を受け、日本心理学会第84回大会にて優秀発表賞を受賞した。受賞にあたっては、「ごく僅かな顔（頬）の動きの違いが、魅力度に影響を与える」ことを解明した点が評価された。



同社のこれまでの研究で、年齢によって、顔を動かしたときに頬の肌が遅れて動くようになることがわかっていった。そこで、この現象が顔の印象も、人の顔に生じる場合に与える影響について詳細に調べるため、顔の動きを表すモデルを被験者の遅れが頬部に生じることを提示する試験を行った結果、「0.1秒程度の遅れが印象に与えることがわかった」という。

Member of
Dow Jones Sustainability Indices
Powered by the S&P Global CSA

今後、「愛の精神の実践」という経営理念のもと、求められる社会的役割を認識し、持続可能な社会を実現するため、ESG対応の強化を図っていく。